

平成24年

# 第1回大野町議会定例会

## 施政方針

大野町長

## 施政方針

本日、平成24年第1回大野町議会定例会が開会され、新年度予算案を始めとする重要案件のご審議をいただきますことに先立ちまして、私の町政運営に対する所信と新年度予算案の施策概要を申し述べ、議員各位並びに町民の皆様のご理解とご協力を賜りたいと存じます。

私は、本年この3月で就任3年目を迎えました。昨年は、三段跳びにたとえるならホップ・ステップ・ジャンプのホップの年にしたいと述べましたが、いよいよ今年はステップの年になってまいりました。

また、平成24年度は、大野町第五次総合計画後期計画の中間年でもあります。引き続き当計画の基本構想である「快適で笑顔あふれるやすらぎのまち おおの」の実現に向けて、一人ひとりがまちづくりの主演として輝き、すべての人が安らぎの中で笑顔をもって暮らせる、そのようなまちづくりを目指して、全力で取り組んでまいる決意であります。

さて、我が国においては、昨年3月11日に発生した東日本大震災が、東北地方から関東地方にかけて甚大な惨禍をもたらすとともに、不況下にある日本経済に深い打撃を与えました。また福島第一原子力発電所の事故に伴う放射能漏れは、健康不安や農産物などへの被害をもたらし、我々の生活に大きな影響を与えています。

このような中で、政府が発表した直近の月例経済報告によると、「国内の景気は東日本大震災の影響により依然として厳しい状況にあるなかで、緩やかに持ち直している」としています。

その一方で、電力供給の制約や原子力災害の影響、為替レート・株価の変動等によって、景気が下振れするリスクが存在し、また、デフレの影響や雇用情勢の悪化懸念が依然として残っていることにも注意が必要との指摘がなされています。

また、昨年、閣議決定された向こう3年間の予算編成の基本となる中期財政フレームでは、東日本大震災からの復興を最優先の課題と位置づけたうえで、巨額の財政赤字は財政面における「有事」であるとして、財政再建が必要であるとしています。

一方、地方財政の状況は、現下の経済情勢などにより、地方税収が大幅に回復することは期待できず、さらに、地方全体の債務残高は平成23年度末で201兆円程度となる見込みであり、その元利償還が将来の財政を圧迫する要因となることや、医療等にかかる経費が高齢化等に伴い自然増することが想定されるなど、極めて深刻な状況にあります。

このような国家的な財政難の中、限られた財源の中においても、大野町は住民に身近な基礎自治体として、さまざまな行政需要に適切に対応していく必要があります、これまで以上に柔軟な財政体質の構築と、活力ある地方を創るための施策展開に取り組むことが求められています。

当町の財政状況につきましては、平成22年度決算において財政力指数が0.67、実質公債費比率が、前年度より1.9ポイント減の3.9%となり、実質赤字比率、連結実質赤字比率、将来負担比率は表れず、今のところ健全財政を維持しておりますが、今後の財政状況は、公債費の増大や社会保障費の増加などが予想され、予断を許さない状況であります。

従いまして、厳しい歳入状況が見込まれる中、現状のまま、事業に取り組んでいくことは極めて困難であり、引き続き、歳出構造の見直しを強く進める必要があります。

国政が不安定な中、地方自治を巡る状況もめまぐるしく変化しております。今後とも、そうした政府の動きを注視ながら、変化にも迅速に対応できるよう、町政を進めてまいりたいと考えております。

また、本年9月に開催されます「ぎふ清流国体」におきましては、全国から来られます選手や関係者の皆様を温かくお迎えできるよう、万全の準備を進めてまいります。

改めまして、議員各位をはじめ町民の皆様のご支援とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます、私の所信といたします。

## 当初予算説明

それでは、平成24年度当初予算についてご説明申し上げます。

平成24年度一般会計当初予算では、「安全・安心なまちづくり」を最重要テーマに掲げ、特に防災・減災対策、福祉・教育の充実並びに生活環境整備に重点を置いた予算編成と致しました。

今回の予算規模は、

一般会計	67億6,200万円
国民健康保険事業特別会計	24億7,693万円
後期高齢者医療特別会計	2億160万7千円
上水道事業会計	4億1,643万6千円

となっております。

一般会計の総額は、対前年度比0.8%の増となっております。

町税については、主に町民税の増により1.5%の増、地方交付税等は国の地方財政計画に基づき、平成23年度と同程度の収入を見込んでおります。

また、国県支出金については、10.5%の減で、その主なものといたしましては、子ども手当負担金等の減額によるものでございます。町債については、30.2%の増で、交付税算入があります臨時財政対策債や地域活性化事業債等を予定しております。そして、財源不足分につきましては、財政調整基金と公共施設整備基金にて補てんいたしております。

歳出につきましては、消防費が24.1%の増ですが、防災ラジオ購入などの増によるものです。また総務費も14.3%の増ですがこれは庁舎の空調設備改修費や太陽光発電システム設置費などの増によるものです。

国民健康保険事業特別会計は、対前年度比0.3%の増、後期高齢者医療特別会計は、後期高齢者医療広域連合納付金等の増により対前年度比10.9%の増、上水道事業会計は、配水設備改良費等の増により対前年度比10.4%の増となっております。

以上、平成24年度各会計の予算総額は、98億5,697万3千円で対前年度比1.3%の増額となっております。

## ○主要な施策

続きまして、主要な施策につきまして、大野町第5次総合計画のまちづくり政策体系に基づき、順次ご説明申し上げます。

まずはじめに、第1の政策「安心して心ふれあうまちづくり」でございます。

はじめに「防災」の分野としましては、町民が安全で安心して暮らすことができるよう地震、異常気象など自然災害に対する情報伝達を充実させる防災ラジオ配付や今般の震災でその重要性を再認識しました防災備蓄品等関連機材の計画的な整備充実を図ってまいります。また防災対策・省エネ対策の観点から役場庁舎への太陽光発電システムの設置を行ってまいります。

次に「健康・医療」の分野としましては、子宮頸がんワクチン、ヒブワクチン、小児用肺炎球菌ワクチン等の各種予防接種助成を引き続き実施し、疾病予防に努めてまいります。

また、がん検診に新たに肺がん検診を追加して実施してまい

ります。さらに、妊婦健康診査につきましても、検査項目の拡充を図ってまいります。

次に「障がい者・高齢者福祉」の分野としましては、障がいのある人が自立した日常生活や社会生活を営むことができるよう引き続き地域生活支援事業を実施してまいります。また、高齢者の自主運転免許証返納に対する支援も引き続き実施してまいります。

次に「児童福祉」の分野としましては、県の「安心子ども基金」を活用し、相談事業等の児童虐待対策に努めてまいります。

また、「ことばの教室」につきましては、音楽療法士などによる講座を拡充するなど、引き続き早期療育指導の充実に努めてまいります。

次に「消費生活」の分野としましては、消費者への適切な情報提供に努めるとともに、消費生活相談をはじめ、啓発事業を通じ、悪質商法などの被害の未然防止に努めてまいります。

続きまして、第2の政策「活力と心ときめくまちづくり」でございます。

はじめに「農業」の分野としましては、増加するイノシシなど有害鳥獣の農作物被害につきまして、平成23年度に発足しました鳥獣被害対策協議会と協力しながら対策を講じてまいります。

次に「工業」の分野としましては、岐阜県企業誘致推進協議会と連携を図るとともに、企業立地優遇制度を拡充し、優良企業の立地促進に努めてまいります。

次に「観光」の分野としましては、これも平成23年度に発足しました西美濃夢源回廊協議会と連携しながら、大野町の観

光名所や特産品のPRに努め、交流人口の拡大を図ってまいります。

次に「居住環境」の分野としましては、引き続き耐震診断・耐震改修に対する補助、太陽光発電システム設置に対する補助を実施してまいります。

次に「公園・緑地」の分野としましては、引き続き、国の社会資本整備総合交付金を活用して、うぐいす公園、条里公園、黒野駅ふれあい広場の整備を進めてまいります。

続きまして、第3の政策「自然を活かしゆとりあるくらしのまちづくり」でございます。

はじめに「都市基盤」の分野としましては、東海環状自動車道建設にあわせた特定用途制限地域の策定を進め、調和のとれた計画的な都市基盤の確立に努めます。

次に「交通ネットワーク」の分野としましては、交通手段を持たない高齢者や子どもたちの日常生活の利便性を確保するため、引き続き路線バスの運行維持とデマンドタクシーの充実に努めます。

続きまして、第4の政策「すこやかな心と個性を育むまちづくり」でございます。

はじめに「教育・学習」の分野としましては、夢プラン非常勤講師と特別支援教育アシスタントを増員し、一層の少人数指導教育、特別支援教育の充実に努めてまいります。

また、保護者の経済的負担の軽減を図るため、幼稚園就園奨励補助金を拡充してまいります。

次に「地域文化」の分野では、「条里の里シンポジウム」を



開催し、大野町の歴史・文化を生かしたまちづくりを進めてまいります。

次に「スポーツ・レクリエーション」の分野としましては、来る9月30日から開催される「ぎふ清流国体高等学校硬式野球競技」において、全国から訪れる多くの人々に大野町に来てよかったと思われるよう、町民の皆様をはじめ関係者のご協力をいただきながら、万全の準備を進めてまいります。

最後に「住民参加のまちづくり」でございます。

「住民参加」の分野においては、町民の皆様の幅広い意見を町政に反映する「タウンミーティング」を引き続き開催し、積極的に地域に出向き、町民の皆様や各種団体等との意見交換を行ってまいります。

また、町民の皆様が町政やまちづくりに参加することにより、町民と行政が協働するまちづくりを一層推進するための仕組みづくりについて検討してまいります。

以上、私の町政運営に対する基本的な考え方を申し上げましたが、私が申し上げるまでもなく、町政は、町民の皆様の信頼の上に成り立つものでございます。

今後も、できる限り皆様のご意見、ご提案をお伺いし、「町民が主役の笑顔あふれる大野町づくり」に努めてまいります。

議員並びに町民の皆様方のご理解とご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます、平成24年度に向けた施政方針とさせていただきます。

# 歳入の状況

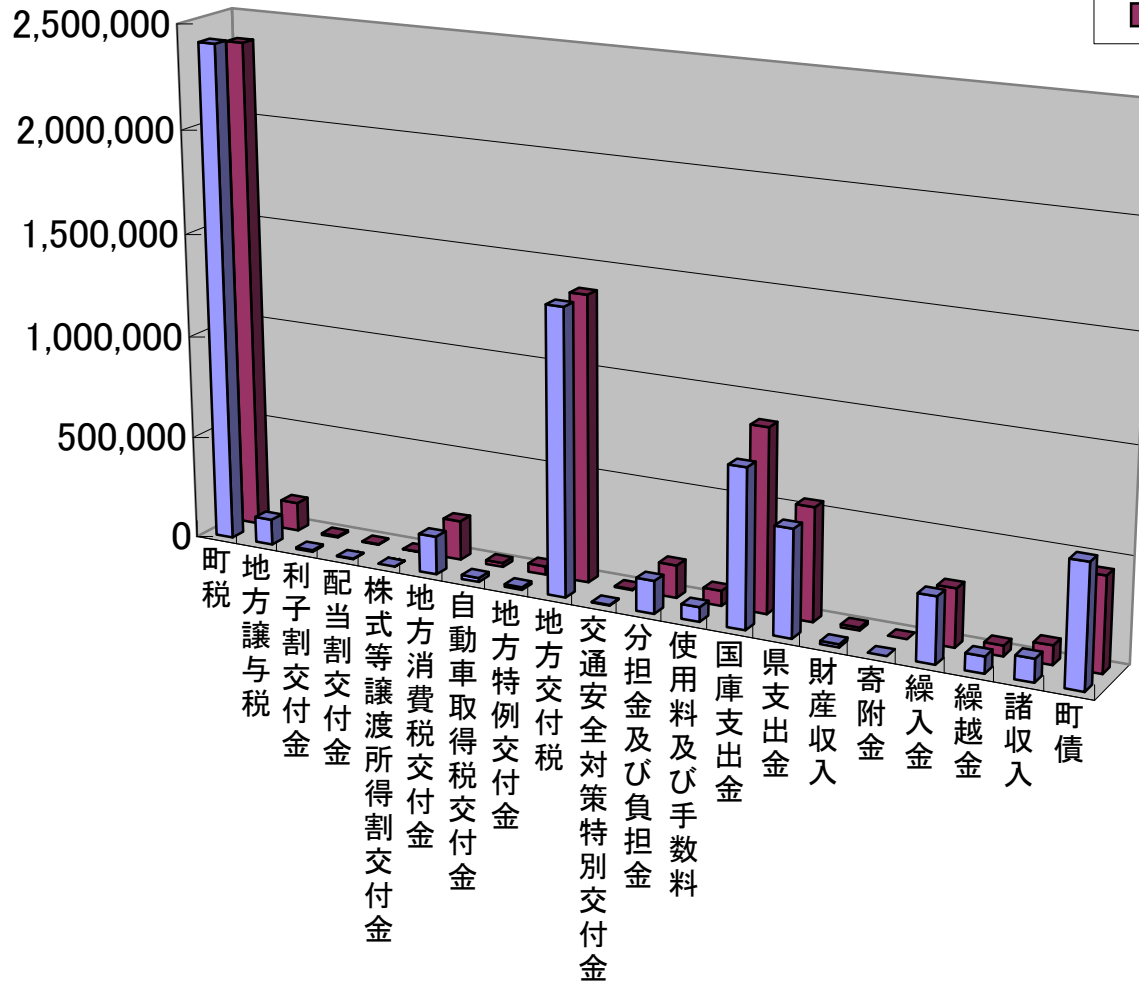
(単位:千円、%)

区 分	平成 24 年度		平成 23 年度		比 較	
	予 算 額	構成比	予 算 額	構成比	増 減 額	増 減 率
1 町 税	2,409,952	35.6	2,374,638	35.4	35,314	1.5
2 地 方 譲 与 税	125,001	1.9	140,001	2.1	△ 15,000	△ 10.7
3 利 子 割 交 付 金	8,000	0.1	8,000	0.1	0	0.0
4 配 当 割 交 付 金	3,500	0.1	3,500	0.1	0	0.0
5 株 式 等 譲 渡 所 得 割 交 付 金	1,000	0.0	1,000	0.0	0	0.0
6 地 方 消 費 税 交 付 金	185,000	2.7	190,000	2.8	△ 5,000	△ 2.6
7 自 動 車 取 得 税 交 付 金	20,001	0.3	20,001	0.3	0	0.0
8 地 方 特 例 交 付 金	12,000	0.2	40,000	0.6	△ 28,000	△ 70.0
9 地 方 交 付 税	1,380,000	20.4	1,380,000	20.6	0	0.0
10 交 通 安 全 対 策 特 別 交 付 金	4,000	0.1	4,300	0.1	△ 300	△ 7.0
11 分 担 金 及 び 負 担 金	157,661	2.3	158,163	2.4	△ 502	△ 0.3
12 使 用 料 及 び 手 数 料	70,471	1.0	73,274	1.1	△ 2,803	△ 3.8
13 国 庫 支 出 金	764,166	11.3	884,309	13.2	△ 120,143	△ 13.6
14 県 支 出 金	514,657	7.6	545,167	8.1	△ 30,510	△ 5.6
15 財 産 収 入	14,635	0.2	14,837	0.2	△ 202	△ 1.4
16 寄 附 金	6	0.0	6	0.0	0	0.0
17 繰 入 金	315,628	4.7	277,270	4.1	38,358	13.8
18 繰 越 金	80,000	1.2	50,000	0.7	30,000	60.0
19 諸 収 入	110,222	1.6	91,534	1.4	18,688	20.4
20 町 債	586,100	8.7	450,000	6.7	136,100	30.2
歳 入 合 計	6,762,000	100.0	6,706,000	100.0	56,000	0.8

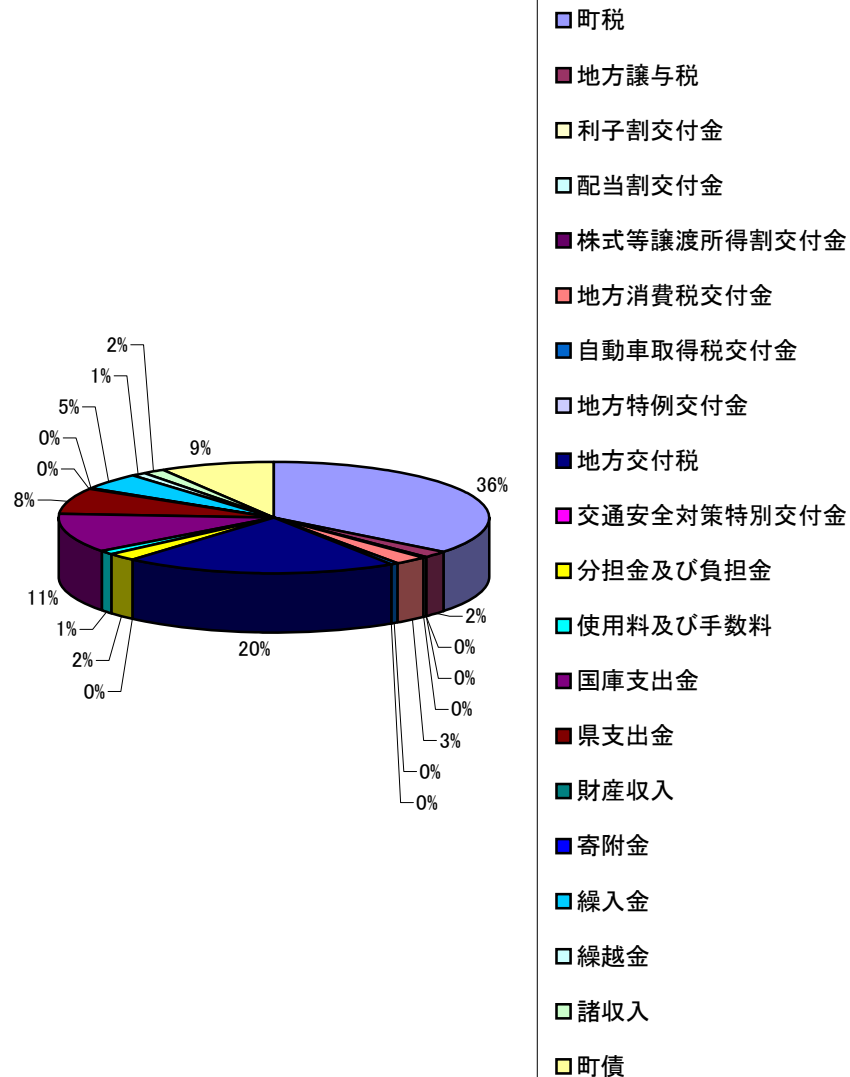
歳入額(千円)

# 歳入の状況

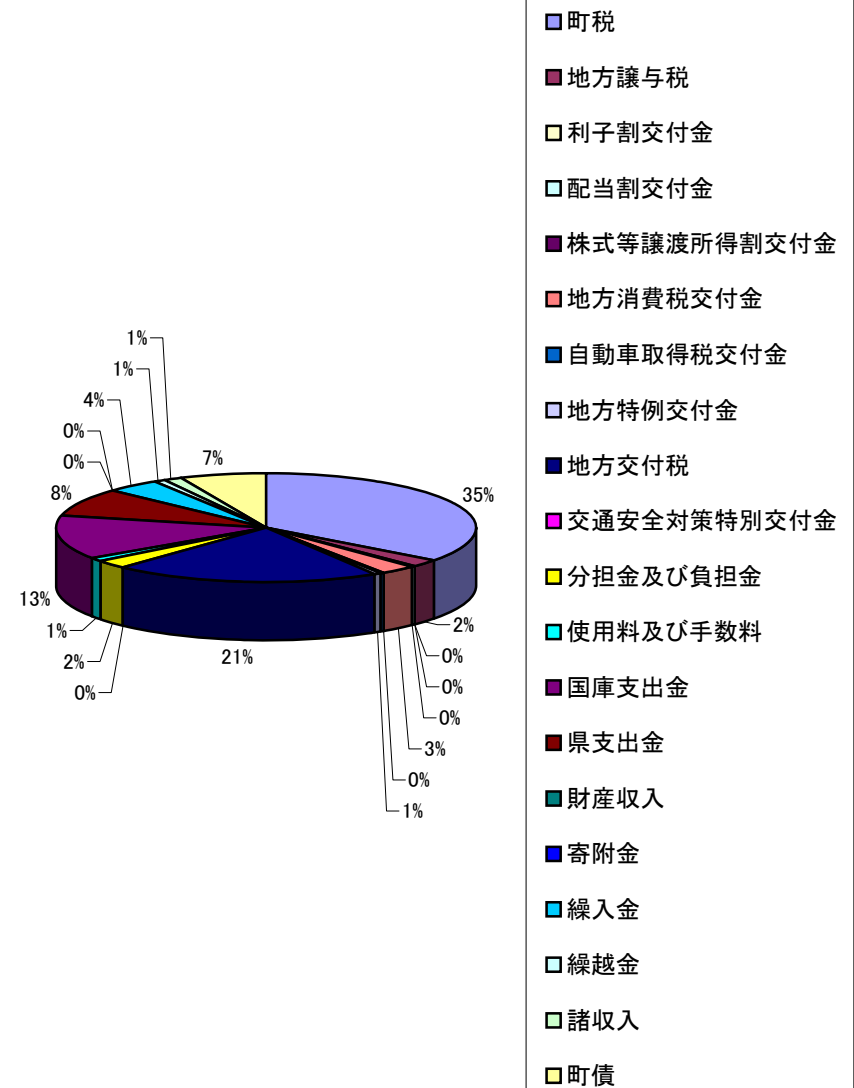
■平成24年度予算額  
■平成23年度予算額



# 平成24年度構成比(%)



# 平成23年度構成比(%)



# 歳出の状況

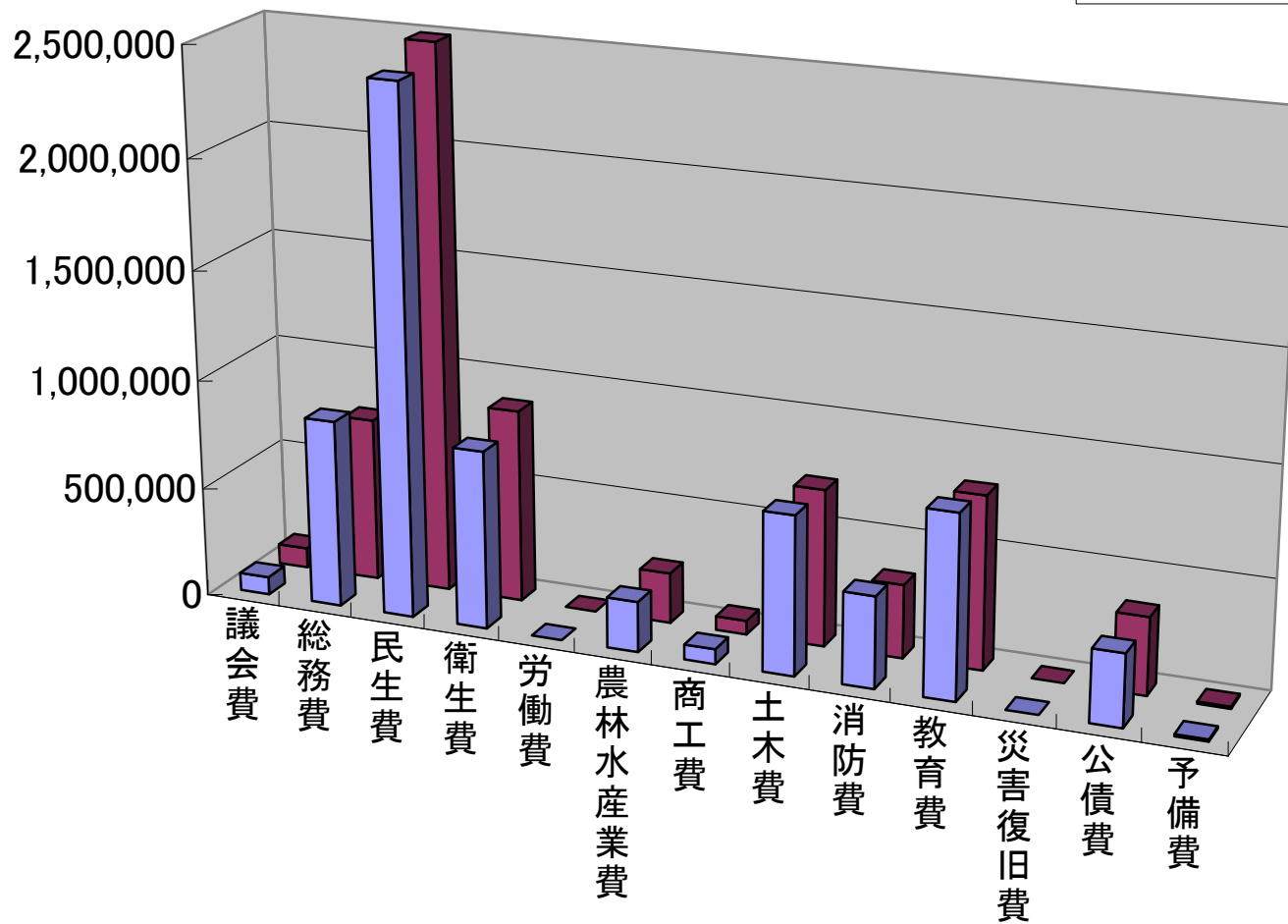
(単位:千円、%)

区 分	平成24年度		平成23年度		比 較	
	予 算 額	構成比	予 算 額	構成比	増 減 額	増 減 率
1 議 会 費	81,174	1.2	91,683	1.4	△ 10,509	△ 11.5
2 総 務 費	855,273	12.7	748,167	11.2	107,106	14.3
3 民 生 費	2,405,166	35.6	2,495,097	37.2	△ 89,931	△ 3.6
4 衛 生 費	812,506	12.0	881,083	13.1	△ 68,577	△ 7.8
5 労 働 費	10	0.0	10	0.0	0	0.0
6 農 林 水 産 業 費	229,828	3.4	230,419	3.4	△ 591	△ 0.3
7 商 工 費	68,700	1.0	63,305	0.9	5,395	8.5
8 土 木 費	722,054	10.7	713,192	10.6	8,862	1.2
9 消 防 費	415,673	6.1	334,878	5.0	80,795	24.1
10 教 育 費	832,941	12.3	786,421	11.7	46,520	5.9
11 災 害 復 旧 費	10	0.0	10	0.0	0	0.0
12 公 債 費	328,665	4.9	351,735	5.3	△ 23,070	△ 6.6
13 予 備 費	10,000	0.1	10,000	0.2	0	0.0
歳 出 合 計	6,762,000	100.0	6,706,000	100.0	56,000	0.8

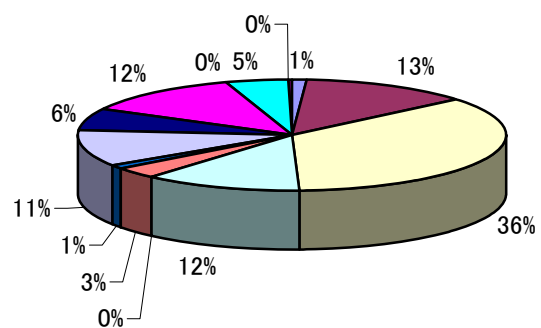
歳出額(千円)

# 歳出の状況

■平成24年度予算額  
■平成23年度予算額

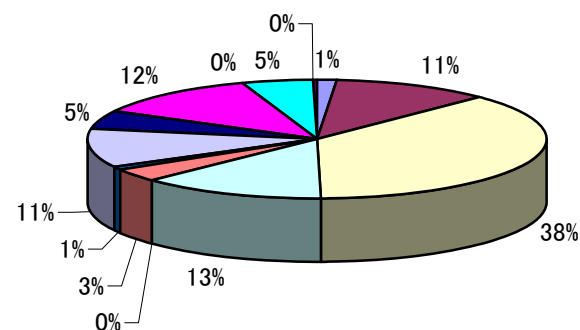


## 平成24年度構成比(%)



- 議会費
- 総務費
- 民生費
- 衛生費
- 労働費
- 農林水産業費
- 商工費
- 土木費
- 消防費
- 教育費
- 災害復旧費
- 公債費
- 予備費

## 平成23年度構成比(%)



- 議会費
- 総務費
- 民生費
- 衛生費
- 労働費
- 農林水産業費
- 商工費
- 土木費
- 消防費
- 教育費
- 災害復旧費
- 公債費
- 予備費